# TTC 定例山行実施記録表

2017年 12 月 15 日 M.H

| 山行名 | 伊豆大島・三原山忘年山行 [758m 東京都] |
|---|---|
| 実施日 | 2017年 12 月 9 日(土)～10 日(日) 一泊二日 公共交通機関(船含む)利用 |
| 天候／参加人員 | 天候 : 晴れ レベル:★ 参加者:17 名(男 9 名／女 8 名) |
| ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ | CL:、 SL:、 会計: 救護:、 写真: |
| 参加メンバー | 省略 |
| 費用<br>一人当たり費用<br>18,200 円/人<br>カンパ金：<br>1,579 円 | 本厚木～大島元町港(ｸｰﾎﾟﾝ利用) 8,800*17＝149,600 タクシー代 (元町港～三原山温泉、三原山頂口～ホテル白岩) 23,000 島内一周観光 2,000*17＝34,000 宿泊費 9,870*17＝167,790 忘年会飲料代 22,161 余興品 4,428 二次会飲料、つまみ代 9,365 宅急便代 1,477 通信費 1,000 カンパ金 1,579 総額 414,400 「しまポ」クーポンによる還付金▲60,000 謝礼金 5,000*3＝15,000(KM、SR、HM より)TTC 補助金▲30,000⇒総計 309,400 一人当たりの費用 18,200 |

所要時間等

| | 12 月 9 日 | | |
|---|---|---|---|
| | 歩行時間 | 休憩時間 | 行動時間 |
| 計 画 | 2:35 | 0:50 | 3:25 |
| 実 行 | 2:40 | 0:30 | 3:10 |

## 実行コースタイム記録

*2/09* 小田急線 東海道線 バス 東海汽船 タクシー 1:18

本厚木駅 == 小田原駅 == 熱海駅 == 熱海港 >> 大島岡田港==三原山温泉……剣ヶ峰……

6:51 7:28/7:36 7:59/8:20 8:30/9:10 10:15/10:25 10:45/11:30（昼食） 12:48/12:58

50 32

……火口展望台……三原神社 …… 山頂口（御神火茶屋） ====ホテル白岩（宿泊）

13:48/14:08 14:40/15:00 15:20

*12/10* バス バス バス バス 東海汽船

ホテル白岩 ……元町港 == 地層切断面==波浮見晴台==元町港====大島公園==岡田港>>>>

10:20 10:30 11:06/11:23 12:59/13:10(昼食) 13:40/14:50 15:03/15:30

バス 東海道線 小田急線

熱海港==熱海駅==小田原駅==本厚木駅

16:35/16:40 16:52/17:04 17:25/17:42 18:20

## コースの概要、特記事項、反省事項等

１2/9

予定通り本厚木駅を出発し、熱海港から大島行のジェット船に乗り込んだ。甲板にでも出て景色を眺められると思っていたが、シートベルト着用が義務付けられていて動くことができなかった。13 年前は同じ船でも、甲板に出たと実施記録に書いてあったが、事故でもあったのだろうか、規則が厳しくなっていた。天気が良く、波も穏やかで揺れがほとんど感じられず、うとうとしている間に岡田港に着いた。着いてバス乗り場を探そうと思っていると、山頂口からホテルまで予約していたタクシー会社の方が待ち受けていてくださり、バスより安く三原山温泉まで運んでもらうことができた。また、事前の電話では、満室のため貸し切りの宴会場を確保できないと言われていたが、港で客を待っていたホテルのバスの運転手さんが、「宴会場を用意できました。」と、伝えてくれた。ラッキー続きに「やったぁ。」という気分で三原山温泉に向かうことができた。

昼食を済ませ、山頂火口に向け出発した。裏砂漠コースと書かれている道しるべに沿って歩を進めると、両側には見たことがないような枝ぶりの木々が群生していて違う国に来たような感覚にとらわれた。林を抜けると、ススキと黒い砂の中に大小様々な形の溶岩が散らばる異様な光景に目を奪われた。目の前には噴煙も望むことができ、三原山が活火山であることを改めて感じた。周りには、大山から丹沢の山々、三浦半島、房総半島、雲の上に顔を見せている富士山、遠くには南アルプスの雪をかぶった山並みなどを望むことができ、天気に恵まれたことに感謝した。SY さんと、自ら「代行」と称する SK さんを中心に楽しいおしゃべりにも花が咲き、和気あいあいと歩くことができた。高度が上がると、次第に風が強くなり、剣ヶ峰からの火口一周では、時に風速 15

メートル（SK さんの体感）もの強風に見舞われた。そんな中で、目の前に口を開けている噴火口の大きさに驚きの声が上がった。三原神社に着くと、「火口展望台」への看板があったので、時間的に余裕があることから、足を延ばし違う角度からの火口を眺めることができた。山頂口に着くとすでにタクシーが待っていた。見晴らし広場からの眺めを楽しんでから先発隊がジャンボタクシーに乗車し、ホテルに向けて出発、後発隊はお土産屋さんをのぞいたり、カラスと戯れたりしながら、ピストンで戻るタクシーを待った。

ホテルに着くと、先発隊が数人風呂にも入らず、スマホとにらめっこしていた。「しまポ」というクーポンがあり、クレジットカードを使って 7,000 円で 10,000 円分の金券になるとのこと。かなりの手間と時間をかけて 3 人で 20 万円分を購入することができた。何と、6 万円の節約になり驚きだった。宴会では、今年百名山を達成した 3 人（KM さん、SR さん、HM さん）に認定証を渡し、クラッカーを鳴らして皆で祝った。「やまなみ」の中から、参加者の紀行文を抜粋したクイズや、ビンゴゲームをはじめとするいろいろなゲームを楽しみ、その後の二次会でも楽しいおしゃべりで盛り上がった。一つ残念だったのは、後から送った荷物が届かなかったことだ。お祝いのシャンパンや景品がふいになってしまった。「仕方ないね。三日遅れの～だから。」と言われ、がっくりだった。

１２/１０

計画書では、椿・花ガーデンに行く予定だったが、ホテルの方のアドバイスで椿・花ガーデンに行くのはやめにし、大島公園に行くことにした。先に波浮見晴台に行き、元町港に戻って昼食、その後大島公園に行って、港へ向かうコースを取ることにした。近くのバス停から 10:30 にバスに乗り、1 日フリーパスを購入した。途中、車窓からではあったが地層切断面のスケールの大きさに感動しながら、波浮港を経て波浮見晴台で下車した。バス停前のお土産屋さんで初めて「くさや」を目にし、怖いもの見たさに少量購入した。元町港に戻り、人数分予約しておいた寿司光で名物のべっこう寿司を食べた。再びバスに乗り、大島公園を目指した。町営で入場無料だが、園内には椿園や資料館、動物園などがあり、とてもよく整備されていた。初めに入った資料館では、椿のドライフラワーが何十種類も並んでいて、その数の多さにびっくりした。様々な色、形で、満開時に来てぜひ見てみたいと思った。動物園では、繁殖力旺盛で手を焼いているという「キョン」やフタコブラクダ、ワオキツネザルなど珍しい動物が見られた。1 時間ほどかけてゆっくりと園内を散策後、バスで岡田港に向かい、大島を後にした。

天気に恵まれ、タクシーに便利に乗ることができ、貸し切りの宴会場で思う存分楽しむことができ、大島の自然を満喫でき、しかも、「しまポ」で費用が割安になり、全員無事に厚木まで戻ってこられたことに、本当にありがたい気持ちでいっぱいである。

皆様のご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。